

第二期子ども・子育て支援事業計画の 策定に係るニーズ調査について

平成30年度第2回柏市子ども・子育て会議
(平成30年10月1日)

実施の概要

(1) 調査対象について

対象		抽出	調査方法
就学前子どものいる世帯	0～2歳	2,500件	住民基本台帳より無作為抽出
	3～5歳	2,500件	
こどもルームを現在利用している小学生を対象にする (三区域各2ルームずつ計6ルームの在籍者全員)		約700件	該当児童全員

(2) 調査の実施, 集計, 分析等の流れ(予定)

10月31日(水)	第3回会議	調査項目, 内容の検討
11月～12月		調査票の発送, 回収, 単純集計等
2月13日(水)	第4回会議	集計結果の報告・調査結果の分析
3月22日(金)	第5回会議	量の見込みの設定

調査項目設定の考え方（案）

◎ 「量の見込み」の算出に必要なデータを得る

⇒ 国が「量の見込みの推計上必要な項目」として指定した項目は調査項目とする。

◎ 調査項目数は適切なものとする

⇒ 国の『調査票のイメージ』は、「量の見込みの推計上必要な項目」以外の項目も多く含まれている。適切な項目数となるよう、取捨選択する。

◎ 柏市独自の調査項目を追加する

⇒ 「量の見込みの推計上必要な項目」以外に、今後の検討のために特に必要な項目を追加する。

項目検討の視点

- ① 計画に記載すべき内容に対応した調査項目になっているか。
- ② 利用希望をできる限り正確に把握することができるか。
- ③ 独自項目は、何を目的に設定し、その目的は妥当かどうか。
- ④ 回答者にとって、わかりやすいものとなっているか。

調査項目設定のポイント

- 教育・保育の適切なニーズの把握
- 幼児教育・保育の無償化の影響把握
- 多様な教育・保育の受け皿の可能性
- 現行計画に係る地域子ども・子育て支援事業の充足度・質的効果の検証
- 子ども・子育てに係る課題の現状把握(母親支援から家族支援へ, 虐待への対応強化など)